平成22年度に実施した事務事業の評価

番号	44004	事務事業名	宗像市学校教育研究協議会事業	所管課	教育政策課

総合計画体系（後期）			
	部	2	子育て環境の充実
	章	3	学校教育の充実
	節（施策）	1	信頼される学校運営の推進

【将来像】

節（施策）の目的です。後期基本計画の施策の将来像を確認し、転記してください。

子どもたちが安心して学校に通い、生きる力を身につけています

【事業の内容】

誰・何に対して、どんな手段を実施していますか（しますか）？

教育課題解決のための検討・協議・教育講演会の実施・研究指定委嘱校に対する研究活動旅費支援・教職員の自主研究グループへの研究活動費支援を行う

事業費（単位：千円）		21年度決算	22年度決算	23年度予算
事業費合計		523	894	1,400
財源内訳	国・県支出金			
	地方債			
	その他			
	一般財源	523	894	1,400
財源名	国・県支出金			
	地方債			
	その他			

【事業の効果】

誰・何がどのような状態になることを目指していますか？

宗像市立小中学校の教育課題解決のための具体的方策を検討・協議し、教育講演会を開催すること。また、自主研究グループに対する支援。

指標名（成果指標）	説明・算定式	単位	実績の推移			22年度		目標値			
			19年度	20年度	21年度	目標	実績	23年度	24年度	25年度	26年度
教育講演会参加人数	教職員の出席者数	人	406	456	484	450	459				
研究活動報告書	研究グループからの研究報告書	数	4	5	4	4	2				

平成22年度に実施した事務事業の評価

22年度 実施計画	教職員の自主研究活動の推進を図るとともに、宗像市内の中学校区に小中一貫教育を拡大するための研究指定校の検討を行う。また、教職員の指導力を高める人材育成の取り組みを検討する。
実施結果	実績となる数字も入れて、分かりやすく 「読みの役割を生かした一人読みと交流活動」と「思考力・表現力の育成を目指す算数科レポート・ノート作成の取組」と題して自主研究した２サークルに対し消耗品等の支援を実施。８月２１日の教育講演会では、「小中一貫教育調査研究校の取組と今後の展望」と題して東郷小、河東小、自由ヶ丘小の発表と「子どもを１人前に育てる大人の責任」と題して講演会を実施。また、教師の経営力・指導力・組織力の充実及び小中一貫教育の推進などについて２回会議を開催した。

【一次評価(担当課から)】

必要性の評価	評価	その評価をした理由
市民のニーズはどうなっていますか？ 1　向上している　2　変わらない　3　低下している	1	小中一貫教育推進や教師の経営力・指導力・組織力を高めることなどを協議しており、その結果童生徒の学力向上につながるので、市民ニーズ高いと思われる。
民間、国、県、市が行う他の事務事業と事業の目的や成果が重複していませんか？ 1　重複していない　2　一部重複している　3　重複している	1	宗像市立小中学校の児童生徒や教職員を対象にしている事業なので重複はない
有効性の評価	**評価**	**その評価をした理由**
目的に対しての成果はどうなっていますか？ 1　向上している　2　変わらない　3　落ち込んでいる	1	全国学力テスト（国語、算数、数学）の結果、国・県の平均を上回っている
市民参画協働の推進や、社会情勢の変化などに対応できていますか？ 1　対応できている　2　対応の必要がない　3　対応できていない	1	教育課題解決のための検討・協議をする協議会であり、その時々の社会情勢の変化にも対応している
効率性の評価	**評価**	**その評価をした理由**
コスト効率はどうなっていますか？ 1　向上している　2　変わらない　3　低下している	2	補助金の範囲内で効果的に運営がなされている
公平性の評価	**評価**	**その評価をした理由**
特定の受益者に偏っていませんか？ 1　偏っていない　2　法律や条例でやむを得ず偏っている 3　偏っている	1	宗像市立の小中学校の教職員及び児童生徒を対象に実施している。

総合評価と今後の方針			具体的な改善策
内容	維持	今後も多様化する具体的課題に関して協議を行い、研究指定校や自主研究グループに対する支援を実施する。	今後、市の研究指定校の把握し、予算を考慮する。
予算	維持		

【平成24年度に向けての二次評価(最終評価)】

理由及び検討事項		
内容	完了	当該事業は「学校運営推進事業」に統合のため、「完了」とする。
予算	完了	